

# 平成30年7月豪雨の教訓

水防災意識社会 再構築ビジョン

入場  
無料

# 「長良川の水害から 命を守るためには」

2019 | 2.24 | SUN

時間 | 10:00 ~ 12:00 (受付開始/9:30)

場所 | じゅうろくプラザホール(岐阜駅前)

定員 | 500名

参加費 | 無料(先着順)※

※会場が定員に成り次第、入場をお断りさせて頂く場合がございます。



甚大な被害をもたらした昭和51年9月の安八水害から42年、長良川は再び大きな洪水に見舞われました。

この「平成30年7月豪雨」をふりかえり、いつか必ず発生する「施設では守り切れない大洪水」からどのように身を守るか、小学生から市長、学識者まで、みんなで一緒に考えることで、長良川から水防災意識社会の再構築を目指します。

# NAGAKAWA

## プログラム

9:30	受付開始
10:00	開会
10:05	主催者挨拶 ●岐阜市長 柴橋 正直 ●国土交通省中部地方整備局 木曾川上流河川事務所長 堀 与志郎
第1部	
10:15	基調講演① 「頻発する豪雨災害と気候変動」 名古屋大学名誉教授 辻本 哲郎 氏
10:35	基調講演② 「平成30年7月豪雨災害の教訓-自主避難の大切さ-」 関市長 尾関 健治 氏
10:45	防災教育事例発表 「岐阜市立岐阜小学校での防災教育の取組み」 岐阜市立岐阜小学校教諭 篠田龍祐 氏 岐阜市立岐阜小学校6年生児童
11:10	休憩
第2部	
11:15	パネルディスカッション 「大雨、その時私たちはどのように行動すべきか」
12:00	閉会

## 基調講演



つじもと てつろう  
**辻本 哲郎**  
名古屋大学  
名誉教授、  
木曾川水系  
流域委員会  
委員長



おぜき けんじ  
**尾関 健治**  
関市長

## パネリスト



しばはし まさなお  
**柴橋 正直**  
岐阜市長



ほり よしろう  
**堀 与志郎**  
木曾川上流  
河川事務所長



ともと としお  
**戸本 敏夫**  
岐阜市  
水防協会長



しのだ りゆうすけ  
**篠田 龍祐**  
岐阜小学校  
教諭



いのうえ きよたか  
**井上 清敬**  
岐阜県  
県土整備部  
河川課長

## アクセス

じゅうろくプラザホール  
(岐阜駅前)

〒500-8856  
岐阜市橋本町1-10-11  
TEL.058-262-0150(代)

- JR 岐阜駅隣接 徒歩約2分
- 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分
- 岐阜各務原I.Cより 車約15分
- 岐阜羽島I.Cより 車約20分



主催 | 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所、岐阜市

お問合せ | 国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所 調査課 TEL.058-251-1125 <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojojo/>



体験しながら災害・防災について学ぼう!!

# 災害現場で働くクルマたち

## 2.24日



場所 | 信長ゆめ広場  
(JR岐阜駅前)

時間 | ※ 9:00~14:00

見よう!



災害対策本部車



排水ポンプ車

災害対策本部車や排水ポンプ車が災害現場でどのような活躍をするのか見てみよう!



国土交通省の制服を着て照明車を操作しよう!

知ろう!

乗ろう!

川の安全を見回るパトロールカーに乗ってみよう!



河川パトロールカー



かわ・ダムも知ろう!  
模型&パネル展



アンケートに答えたら災害対策車両のペーパークラフトがもらえるよ!



無くなり次第終了します



照明車

※雨天、雪等の際は、中止させて頂く場合がございます。  
中止の際は、2月23日(土)21時までに木曾川上流河川事務所ホームページに掲載させて頂きます。URL: <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisojo/>



○長良川でもいつか必ず発生する「施設では守り切れない大洪水」から命を守るため、平成30年7月豪雨を題材に、避難のあり方を考えるシンポジウムを開催。  
 ○岐阜小学校の児童10名から先進的な防災教育の取り組みとその成果を紹介。学識者、国・県・市、水防団による水害時の対応や心構えの説明と合わせて、小学生とその保護者など来場者約500人の水防災意識を啓発。



主催者あいさつ  
**自らの命は自らが守ることが大事。**  
 本シンポジウムを通して、**災害への意識が広がって欲しい。**



豪雨の概要説明  
 平成30年7月豪雨は、長良川が決壊した**昭和51年9月の水害に酷似**。一方、市内は雨が少なく、**どれだけの人が危機感を持ったか？**

**開催概要**  
 ○日時：平成31年2月24日(日)  
 ○会場：じゅうろくプラザホール(JR岐阜駅前)  
 ○参加：約500人  
 ○主催：木曾川上流河川事務所、岐阜市  
 ○報道：岐阜新聞、中日新聞、朝日新聞、CCN(ケーブルテレビ)



「頻発する豪雨 災害と気候変動」  
 近年、全国各地で豪雨災害が頻発。  
 行政、政治、学識者、市民、**皆で責任を持って大きな災害に立ち向かうべき。**



「住民避難の大切さ」  
 関市の対応をふり返し、住民アンケートを実施。  
 住民は、**主体的な情報収集や早めの避難を。**  
 災害対策本部は、**迅速な避難情報発令を。**

パネルディスカッション  
**「大雨、そのときわたしたちはどう行動すべきか」**



防災教育の取り組み紹介  
 防災教育の授業を通じて、洪水時にすべきことを学び、**家族でも話しあった。**  
 7月豪雨の時も、情報収集や避難の仕方の確認など**自分から行動ができた。**  
 これからも防災に関心を持ち続けたい。

・過去の河川改修が効果を発揮。  
 ・水防団も活躍。しかし、団員の高齢化等の課題を抱える。  
 ・市の避難情報に注意してほしい。  
 ・中小河川の危機管理型水位計や水害危険情報図を活用してほしい。  
 ・防災教育を受けた子ども達の成長を実感。

ファシリテータ  
 辻本 哲郎 名大名誉教授  
 パネリスト(写真左から)  
 柴橋 正直 岐阜市長  
 堀 与志郎 木曾上所長  
 井上 清敬 県河川課長  
 篠田 龍祐 岐阜小教諭  
 戸本 敏夫 水防協会長

岐阜小学校 篠田教諭 6年生児童10名



# 「災害現場で働くクルマたち」を開催しました。

- 日 時：平成31年2月24日(日) 9:00~14:00
- 場 所：信長ゆめ広場(JR岐阜駅前)
- 主 催：木曾川上流河川事務所
- 協 力：岐阜市、岐阜市水防協会
- 参 加：約350人
- 内 容：災害対策車の展示・操作体験  
(排水ポンプ車, 照明車, 河川パトローカー,  
災害対策本部車)  
水防団による水防活動紹介  
かわ・ダムを知ろう! 模型&パネル展



河川パトローカーの乗車状況



排水ポンプ車の紹介



災害対策車の展示



信長ゆめ広場の全景



照明車の操作体験



照明車の操作体験



水防工法の展示



水防団による説明の様子